


見える化シート

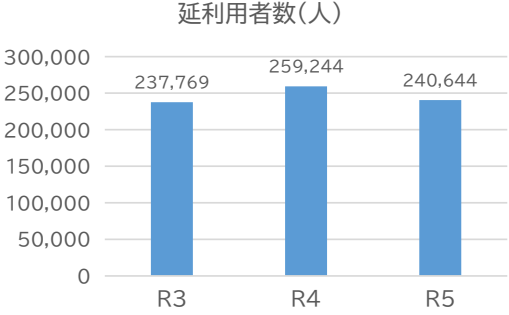
基準日

令和6年3月31日現在

基本情報

施設名称	図書館(本館)	
所在地	八戸市大字糠塚字下道2番地1	
所管部署	図書館	
設置の目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理保存して一般公衆の利用に供し、市民の自己教育、調査研究、レクリエーション等に資するための拠点として設置するもの。	

管理・運営の概要

土地	土地面積	7,300.60	m ²	所有状況	市有地					
	用途地域	近隣商業地域								
建物	建物名称	図書館(本館)								
	建築年月日	昭和58年12月9日								
	延床面積	3,663.11	m ²	構造	鉄筋コンクリート	階数	地上	3	地下	—
	整備費用	965,000	千円	財産区分	行政財産					
	耐震診断	不要		診断結果	—					
運営	開館時間	9:00~19:00 (土日祝 9:00~17:00)								
	休館日	祝日の翌日、毎月月末、年末年始(12月28日~1月4日)、図書整理期間(年1回)								
	開館日数(日)	R3	293	R4	330	R5	299			
	運営形態	直営								
主な利用者	市民(全市的)		近隣自治体住民		研究者					
延利用者数(人)	R3	237,769	R4	259,244	R5	240,644				
利用	1日当たり利用者数(人)	R3	811	R4	786	R5	805			
	利用料金	入館料	無料			貸館利用料				

駐車場の有無				職員数(人)			
駐車場の有無	有		自動車	105	正職員	会計年度任用職員	
利用時間	9:00~19:00		原付・バイク	有			
入出庫時間	9:00~19:00		自転車	有	14	19	
バリアフリーの状況				自家発電設備等			
車いす駐車場	出入り口のスロープ	障害者用エレベーター	オストメイト対応トイレ	自家発電設備	再生可能エネルギー設備		
○	○	○	—	—	—		
災害指定避難						蔵書数(冊)	426,143
指定緊急避難場所					指定避難所		
洪水	土砂	地震	大規模な火災	火山			
—	—	—	—	—			

施設運営費の状況 (単位:千円)

		令和3年度	地元 発注率	令和4年度	地元 発注率	令和5年度	地元 発注率	
支出	人に係る経費	125,546	/	136,651	/	144,722	/	
	企画運営費	7,295	59%	6,857	57%	9,614	43%	
	施設の維持管理費		73,883	91%	72,690	91%	78,064	89%
		うち、光熱水費	9,822	/	11,531	/	11,995	/
		うち、委託料	19,147	100%	20,864	100%	21,755	94%
	合計	206,724	/	216,198	/	232,400	/	
収入 (財源)	使用料	243		334		306		
	その他	6,896		3,155		4,697		
	一般財源	199,585		212,709		227,397		
	合計	206,724		216,198		232,400		

施設運営費の特徴	支出経費の構成割合(令和5年度)
<p>1.人に係る経費 図書等資料の貸出・返却・レファレンス対応などの図書館運営業務に33人の職員が従事しており、うちブックスタート事業やおはなし会などの企画運営業務に10人、古文書に関する企画運営業務に6人の職員が従事しています。1日の開館時間が本庁と比較し長く、また休館日も少ないことから、シフト制とし、施設運営に必要な職員を配置しています。</p> <p>2. 企画運営費 展示、おはなし会及び講座など様々な企画を実施していますが、職員が読み手や講師を務めることで経費が抑えられています。 (主にブックスタート事業費及び刊行書籍経費)</p> <p>3. 施設の維持管理費(その他) 図書等購入費及び施設修繕費に当たり、一定の経費を要しています。</p> <p>4. その他 その他収入の主なものは、図書等購入費寄付金や書籍売上収入、複写資料代收収入です。</p>	<p>支出経費の構成割合(令和5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人に係る経費: 62% 維持管理費(その他): 19% 維持管理費(委託料): 10% 維持管理費(光熱水費): 5% 企画運営費: 4%

取組の状況

設置条例	八戸市図書館条例
運営方針等	八戸市図書館運営方針
取組の内容	

1. 施設の特徴

(1) 目指す将来像 「集まる つなぐ 広がる 楽しむ 育む 図書館」

(2) 基本理念

- 情報や書籍、イベント等を通じて人と人をつなぎ、歴史や文化を次世代につなぎ、知識が広がり、新たな興味が広がり、楽しみが広がる場として、本を読む楽しみを子どもたちに伝え、子どもたちの豊かな心を育み、学ぶ喜びを育みます。
- 今後、社会のデジタル化が進み、図書資料の概念が大きく変化していく中でも、古文書から電子化された情報まで多様な媒体を資料とし、情報を提供できる図書館を目指します。
- 図書館の多様な情報をもとに人々が自由に集い、情報と人、人と人のつながりを生み出し、未来を担う子どもたちを育み、生涯にわたって活用され楽しめる、情報を介したプラットフォームのような図書館を目指します。
- 本や情報、多様なつながりや活動を通じて豊かな想像力や思考力を育み、図書館での活動や本のある暮らしが当たり前となる、文化の香り高いまちとなることを目指します。

(3) 基本方針

- ① 本を読む楽しみを支える図書館
- ② 誰もが利用できる図書館
- ③ 生涯にわたる学びを支え、暮らしや地域の課題解決を支える図書館
- ④ 郷土の歴史や文化を次世代へ継承する図書館

(4) 資料の貸出数・期間

- ・ 図書資料(図書・雑誌):1人8冊 15日以内
- ・ 視聴覚資料(CD) :1人2点 15日以内

(5) 蔵書数及び利用状況

	蔵書数(冊)			貸出数 (冊)	貸出者数 (人)
	図書資料	視聴覚資料	合計		
R3	449,556	5,105	454,661	623,447	130,669
R4	449,935	5,251	455,186	658,291	141,419
R5	454,777	5,282	460,059	603,889	127,397

※移動図書館及び6分室を含む

※本館は、冷房設備等更新工事のため、令和6年3月は休館。

2. 主な事業

(1) テーマ展示の実施

0歳から大人までを対象にした多様な分野の図書をより探しやすいよう、季節や時事など様々なテーマを設け図書の展示を実施しています。また、「市民大学講座」「男女共同参画基本計画」「いのちを支える八戸市自殺対策計画」の事業など、他部署と連携した展示も実施しています。

(2) ブックスタート事業の実施

ブックスタートは赤ちゃんと保護者が絵本を介して、ゆっくり心触れあうひとときを持つきっかけを作ることを目的に、先天性股関節脱臼検診の会場で検診終了後、ボランティアによる読み聞かせのほか、絵本1冊とおすすめ絵本リストや図書館の利用案内を入れたバッグを配布しており、生後90日から1歳未満を対象としています。

(3) リサイクルフェアの開催

図書館で除籍した図書や雑誌及び各家庭から受け付けた本を、リサイクルとして有効活用のため無料提供しています。(1人30冊まで)

(4) おはなし会の開催

未就学児や小学生を対象として、週2回(木・土曜日)の絵本の読み聞かせなどを開催しています。

(1) テーマ展示



(2) ブックスタート事業



(3) リサイクルフェア



(4) おはなし会



(5) 古文書の収集・整理・公開

八戸に関わる資料を収集し、県重宝や市文化財指定の資料など約79,000点の古文書、古記録、古写真、行政資料などの歴史資料を所蔵し、整理・保存・管理しているほか、古文書の解読を進め、重要な資料については書籍として刊行しています。

(6) 郷土資料の収集

- ① 地方紙2紙(デーリー東北、東奥日報)の八戸市に関する記事をスクラップし内容ごとに整理しています。
- ② 八戸にゆかりのある安藤昌益や当市出身で芥川賞作家の三浦哲郎氏のコーナーを設け、著書や資料を所蔵しています。

(7) 移動図書館における貸出

市内49か所を月1回巡回し、貸出を行っています。

(8) 分室の設置

公民館などに6分室を設置し、週1~2回貸出を行っています。(鮫・湊・是川・館・根城・上長)

(6) 安藤昌益資料



(6) 三浦哲郎資料



(7) 移動図書館車(ブックモバイル)



3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均 (単位：千円)

支出	人に係る経費	135,640
	企画運営費	7,922
	施設の維持管理費	74,879
	うち、光熱水費	11,116
	うち、委託料	20,589
	合計	218,441
収入 (財源)	使用料	294
	その他	4,916
	一般財源	213,230
	合計	218,441

(1)施設維持管理について

①施設維持管理の状況

昭和59年の設置から40年が経過し、施設、設備及び機器類の老朽化が進んでいることから、長寿命化を図り、館内の環境整備のため、設備更新等が必要となっており、今後、維持補修費が増える見込みとなっています。

また、遠山家日記(県重宝)や八戸藩日記(市文化財指定)を含む貴重な古文書など約79,000点を保管する古文書庫を有しており、古文書等歴史的な資産を適切に管理し、後世へ継承するため、古文書庫内は24時間通年で一定の空気環境を保つ必要があり、一定の維持管理費を要しています。

②維持管理費削減の取組

施設維持に要する経費を抑えるため、令和2年度にトイレ照明をLED化及び人感センサーに更新しました。令和5年度及び6年度には、館内照明のLED化や冷房設備等の更新を進め、今後も、さらに効率的な施設運営を図り、光熱水費の削減に努めていきます。

(2)財源の見通しについて

図書等資料は誰もが容易に利用できる市民の財産であるということから、市税や地方交付税などの一般財源を充てることを基本としながら、書籍売上収入や寄付金など、その他の収入の確保に努めていきます。